

教育委員会の主な事務
の点検・評価報告書
【令和5年度事業】



令和6年7月
鉾田市教育委員会

— 目 次 —

第1章 教育委員会評価制度の概要	1
1. 点検・評価の趣旨	
2. 点検・評価の対象・期間	
3. 点検・評価の方法	
4. 点検・評価委員	
第2章 教育委員会の活動状況	3
1. 教育長及び教育委員	
2. 教育委員会の開催状況	①教育委員会会議 ②視察・研修等 ③開校式・入学式・卒業式
第3章 点検・評価シート	8
1. 教育総務課 新しい学校づくり推進室	1 教育・子育て支援給付金事業 2 旭中学校区統合小学校整備事業
2. 指導課	3 英語指導事業 4 のびのび児童生徒推進事業 5 特別支援教育支援事業
3. 生涯学習課	6 家庭教育支援事業 7 二十歳の集い事業 8 花いっぱい運動事業 9 放課後子供教室推進事業 10 生涯学習館管理運営事業 11 イングリッシュ・キャンプ事業 12 文化財保護・啓発事業 13 スポーツ推進事業 14 スポーツクライミング推進事業 15 体育施設管理事業
4. 公民館	16 公民館維持管理事業 17 公民館運営事業 18 芸術文化創造事業

5.	図書館	1 9	図書館維持管理事業
		2 0	図書館運営事業
		2 1	図書館資料収集事業
		2 2	ブックスタート事業
		2 3	学校配本事業
6.	鉾田学校給食センター	2 4	鉾田学校給食センター運営管理事業 (地方創生臨時交付金事業)

第4章	評価委員の意見		33
-----	---------	-------	----

第1章 教育委員会評価制度の概要

1. 点検・評価の趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（昭和31年法律第162号）第26条が平成19年6月に一部改正されたことに伴い、教育委員会は毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果について議会に報告するとともに、公表することが規定されました。

そのため、銚田市教育委員会は「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、令和5年度の教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行について、教育に関する学識経験者の意見を活用して、点検及び評価を行い議会に報告を行うとともに、公表を行うものです。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条

- 1 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条の第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。
- 2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2. 点検・評価の対象・期間

（1）対象

令和5年度の銚田市教育委員会の事務事業を対象とする。

- ・ 教育委員会活動状況
- ・ 教育委員会主要施策

（2）対象期間

令和5年度 令和5年4月から令和6年3月まで

3. 点検・評価の方法

（1）自己評価

各主管課及び教育委員会による主要事業の自己評価を実施する。

（2）評価委員の意見聴取

教育委員会の自己評価に対し、外部の学識経験者による評価委員からの意見・助言を聴取する。

4. 点検・評価委員

本市の教育行政（学校教育・社会教育全般）について、以下の教育に対し高い知見を有する学識経験者である委員の方から、専門的かつ広い視野からのご意見、ご助言をいただきました。

氏 名	所属団体及び役職名
生 越 達	茨城大学教授
豊 田 昌 幸	元学校長・茨城大学教授
今 泉 賢 一	元市P T A連絡協議会会長

第2章 教育委員会の活動状況

1. 教育長及び教育委員

本市教育委員会は、人格が高潔で、教育、学術及び文化に関し識見を有する者の中から、市長が市議会の同意を得て任命した教育長1名及び4名の教育委員により構成されている。

銚田市教育委員会教育長、教育委員(令和6年3月末時点)

職 名	氏 名	任 期
教 育 長	安 原 優	令和3年7月1日から令和6年6月30日まで
教育長職務代理者	大 原 優 子	令和4年1月22日から令和8年1月21日まで
委 員	山 口 正 雄	令和2年12月27日から令和6年12月26日まで
委 員	嶋 田 知恵子	令和5年10月1日から令和7年12月26日まで
委 員	三保谷 智浩	令和5年12月27日から令和9年12月26日まで

2. 教育委員会の開催状況

令和5年度における本市教育委員会の定例会及び臨時会の主な活動状況は、以下の表のとおりである。

① 教育委員会会議

教育委員会		開催日	議案等	報告等	件 名
定例会	4 月	R5. 4. 25	4 件	1 件	議1：銚田市小中学校評議員の委嘱 議2：銚田市社会教育委員の委嘱 議3：公民館運営審議会委員の委嘱 議4：職員の分限休職処分等 報1：指定校変更及び区域外就学の承諾
定例会	5 月	R5. 5. 25	2 件	1 件	議1：令和5年度銚田市一般会計補正予算（案） 議2：旭中学校区統合小学校整備用地の財産取得 報1：指定校変更及び区域外就学の承諾

教育委員会		開催日	議案等	報告等	件 名
臨時会	6 月	R5. 6. 12	1 件	-	議 1 : 教育委員会事務局職員の処分の決定
定例会	6 月	R5. 6. 26	4 件	1 件	議 1 : 銚田市立小学校評議員の解任 議 2 : 銚田市立小学校評議員の委嘱 議 3 : 銚田市学校運営協議会推進委員会設置要綱の 制定 議 4 : 要保護・準要保護児童生徒の認定 報 1 : 指定校変更及び区域外就学の承諾
定例会	7 月	R5. 7. 25	5 件	1 件	議 1 : 令和 6 年度使用小学校及び中学校教科用図書の 採択 議 2 : 銚田市立学習等供用施設管理運営規則の制定 議 3 : 茨城県文化芸術功労者表彰候補者の推薦 議 4 : 要保護・準要保護児童生徒の認定 議 5 : 教育委員会事務局職員の人事異動 報 1 : 指定校変更及び区域外就学の承諾
定例会	8 月	R5. 8. 23	5 件	1 件	議 1 : 工事請負契約の締結 議 2 : 令和 5 年度銚田市一般会計補正予算 (案) 議 3 : 銚田市地域学習館の設置及び管理に関する 条例の廃止 議 4 : 銚田市地域学習館管理運営規則の廃止 議 5 : 要保護・準要保護児童生徒の認定 報 1 : 指定校変更及び区域外就学の承諾
定例会	9 月	R5. 9. 28	4 件	1 件	議 1 : 銚田市立幼稚園学校評議員の委嘱 議 2 : 銚田市体育施設の設置及び管理に関する条例 施行規則の一部改正 議 3 : 要保護・準要保護児童生徒の認定 議 4 : 職員の分限休職処分等 報 1 : 指定校変更及び区域外就学の承諾
定例会	10月	R5. 10. 25	2 件	1 件	議 1 : 銚田市文化財保護審議会委員の委嘱 議 2 : 要保護・準要保護児童生徒の認定 報 1 : 指定校変更及び区域外就学の承諾
定例会	11月	R5. 11. 24	3 件	1 件	議 1 : 令和 5 年度銚田市一般会計補正予算 (案) 議 2 : 銚田市立学校給食センター運営委員会の委員の 委嘱 議 3 : 要保護・準要保護児童生徒の認定 報 1 : 指定校変更及び区域外就学の承諾

教育委員会		開催日	議案等	報告等	件名
定例会	12月	R5. 12. 25	2 件	1 件	議 1 : 職員の分限休職処分等 議 2 : 要保護・準要保護児童生徒の認定 報 1 : 指定校変更及び区域外就学の承諾
定例会	1 月	R5. 1. 25	7 件	1 件	議 1 : 銚田市就学援助費交付規則の一部改正 議 2 : 事務職員の標準的な職務の内容及びその例並びに事務職員の職務の遂行に関する要綱の一部改正 議 3 : 銚田市立学校設置条例の一部改正 議 4 : 銚田市子ども読書活動推進計画（第 4 次計画）の決定 議 5 : 銚田市社会教育委員の委嘱 議 6 : 銚田市立学校給食センター給食費徴収規則の一部改正 議 7 : 要保護・準要保護児童生徒の認定 報 1 : 指定校変更及び区域外就学の承諾
定例会	2 月	R5. 2. 26	9 件	1 件	議 1 : 令和 6 年度銚田市一般会計予算（案） 議 2 : 令和 5 年度銚田市一般会計補正予算（案） 議 3 : 銚田市学校運営協議会規則の制定 議 4 : 銚田市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正 議 5 : 旭中学校区統合小学校造成工事請負契約の変更 議 6 : 旭中学校区統合小学校造成工事請負契約の変更 議 7 : 職員の分限休職処分等 議 8 : 要保護・準要保護児童生徒の認定 議 9 : 要保護・準要保護児童生徒（入学準備金）の認定 報 1 : 指定校変更及び区域外就学の承諾
臨時会	3 月	R5. 3. 14	1 件	-	議 1 : 学校長等の異動内示

教育委員会		開催日	議案等	報告等	件名
定例会	3月	R6.3.26	7件	1件	議1：銚田市教育委員会事務局組織規則の一部改正について 議2：銚田市スクールバス運行に関する条例施行規則の一部改正について 議3：銚田市立銚田市北小学校・銚田北中学校学校運営協議会設置要綱の制定について 議4：銚田市生涯学習館管理運営規則の一部改正について 議5：銚田市スポーツ推進委員の委嘱について 議6：教育委員会事務局職員及び教育機関職員の人事異動について 議7：職員の分限休職処分等について 報1：指定校変更及び区域外就学の承諾

教育委員会 開催件数	議案等 件数	報告等 件数	備考
開催回数 定例会 12回 臨時会 2回	56件	12件	＊議－議案、報－報告 ＊件名は省略して表示しております。

② 視察・研修等

- 学校等視察 ……
- 令和5年11月16日（木） 出席委員3名
銚田北幼稚園、銚田北小学校、旭東小学校、とくしゅくの杜
- 令和5年11月17日（金） 出席委員3名
銚田南小学校、旭南小学校、旭幼稚園、図書館
- 令和5年11月20日（月） 出席委員4名
銚田南中学校、銚田幼稚園、旭中学校、銚田給食センター
- 令和5年11月21日（火） 出席委員4名
大洋公民館、大洋小学校、つばさ幼稚園

- 会議・研修会 ……
- 令和5年12月21日（木） 出席委員3名
市町村教育委員会教育長・教育委員研究協議会
オンラインによる実施

③ 入学式・卒業式

- 入学（園）式 ……
- 令和5年4月6日（木） 出席委員3名
旭南小学校、旭北小学校、銚田北小学校
- 令和5年4月7日（金） 出席委員3名
旭中学校、銚田北中学校、銚田南中学校
- 令和5年4月10日（月） 出席委員2名
旭幼稚園、つばさ幼稚園
- 卒業（園）式 ……
- 令和6年3月11日（月） 出席委員4名
旭中学校、銚田北中学校、銚田南中学校、大洋中学校
- 令和6年3月19日（火） 出席委員4名
旭幼稚園、銚田北幼稚園、銚田幼稚園、つばさ幼稚園
- 令和6年3月21日（木） 出席委員4名
旭東小学校、旭南小学校、銚田北小学校、大洋小学校

第3章 点検・評価シート

- | | |
|-------------------------|---|
| 1. 教育総務課
新しい学校づくり推進室 | 1 教育・子育て支援給付金事業
2 旭中学校区統合小学校整備事業 |
| 2. 指導課 | 3 英語指導事業
4 のびのび児童生徒推進事業
5 特別支援教育支援事業 |
| 3. 生涯学習課 | 6 家庭教育支援事業
7 二十歳の集い事業
8 花いっぱい運動事業
9 放課後子供教室推進事業
10 生涯学習館管理運営事業
11 イングリッシュ・キャンプ事業
12 文化財保護・啓発事業
13 スポーツ推進事業
14 スポーツクライミング推進事業
15 体育施設管理事業 |
| 4. 公民館 | 16 公民館維持管理事業
17 公民館運営事業
18 芸術文化創造事業 |
| 5. 図書館 | 19 図書館維持管理事業
20 図書館運営事業
21 図書館資料収集事業
22 ブックスタート事業
23 学校配本事業 |
| 6. 鉾田学校給食センター | 24 鉾田学校給食センター運営管理事業
(地方創生臨時交付金事業) |

令和6年度 教育委員会の点検・評価シート(令和5年度事業)

施 策 名		子どもたちの教育環境の向上			所属課	教育総務課
事 業 名		教育・子育て支援給付金事業				
予算科目	款	9	教育費	当 初 予 算	87,669	千円
	項	1	教育総務費	予 算 現 額	117,447	千円
				執 行 額	111,265	千円
	目	2	事務局費	予算執行率	94.7	%
	事業	22	教育・子育て支援給付金事業	事業進捗率	100.0%	%
事業の目的及び今年度の取組み 目 的 : 学校給食費を支援することにより、家庭の経済的負担を軽減し、より子育てしやすい環境の向上を図り、子育て世帯から”選ばれるまちづくり”を推進する。 取組み : 市内に住所を有し、小中学校等に通う児童生徒の保護者が負担している給食費に対して、「小中学校等給食費支援給付金」を給付することで、負担額を1,500円としていたが、令和5年9月から支援額を拡充し、保護者が負担している給食費を実質無償化した。						
目的の達成状況 本事業の効果を図るため、本事業を利用している市内学校に在学する児童生徒の保護者へアンケートを実施した。その中で、保護者の給食費負担を実質無償とする給食費支援は、子育てしやすい環境の向上として有効かというアンケートにおいて、97%の方から本事業が家計負担の支援として有効と感じたと回答を得ることができた。 また、給食費支援が子育てしやすい環境の向上として有効かという設問については、95.87%の保護者から有効と感じるとの回答をいただいた。						
評価項目	高 ◀ 事業の評価 ▶ 低		理 由			
妥 当 性	4 3 2 1 高い ■ □ □ □ 低い		実施したアンケートにおいて、保護者が子育てに関する費用のうち大きく負担感を感じているものについて回答を求めたところ、依然として食費(給食費を含む)との回答が最も多かったことから、給食費に関する支援は妥当性が高いと判断される。			
有 効 性	4 3 2 1 高い ■ □ □ □ 低い		アンケートにおいて、本事業の効果を図る設問として、負担を実質無償とする給食費支援は、子育てしやすい環境の向上として有効かという設問については、95.87%、今後の支援制度継続を望む設問については93.17%の回答をいただき有効と感じている。			
効 率 性	4 3 2 1 高い □ ■ □ □ 低い		学校給食法において、施設設備及び運営に関する経費以外の経費(賄材料費)は保護者の負担とするとされていることから、給食費を免除するのではなく、受益者の申請に基づく支援金としているため、保護者からの申請が必要となるため事務処理における効率性に検討の余地があると考え。			
総合評価	子育て世帯において、負担が大きいと認識をしている給食費に対して支援を実施し、支援として有効であるのご意見を多くいただけたことで、子育て世帯のニーズに合致した施策として、事業設計及び運用ができたと考え。					

令和6年度 教育委員会の点検・評価シート(令和5年度事業)

施 策 名		教育環境の向上		所属課	教育総務課 (新しい学校 づくり推進室)
事 業 名		旭中学校区統合小学校整備事業			
予 算 科 目	款	9	教育費	当 初 予 算	584,508 千円
	項	2	小学校費	予 算 現 額	438,388 千円
				執 行 額	411,855 千円
	目	3	学校建設費	予算執行率	93.9 %
	事業	6	旭中学校区統合小学校整備事業	事業進捗率	100.0 %
事業の目的及び今年度の取組み 目 的 : 銚田市公立学校施設再編計画に基づき、旭中学校区の小学校4校の統合を令和8年4月の開校に向けて推進する。 取組み : ○追加学校用地(調整池用地)の購入 ○造成工事の実施 ○実施設計書の作成 ○旭中学校区小学校統合推進委員会の設置・開催及び専門部会の開催 ・推進委員会(2回) ・校長部会(6回)、教頭部会(4回)、教務主任部会(5回)、事務職員部会(3回)、PTA部会(4回)					
目的の達成状況 昨年度に必要となった追加の土地購入については、令和4年度からの繰り越し業務として用地測量業務・不動産鑑定業務・補償調査業務を実施し、令和5年度予算で用地取得が完了した。 ハード面では、学校建設地において造成工事を実施し、建設地の造成が完了した。また、昨年度とりまとめた基本設計を基に実施設計業務を行い、建築工事に必要な実施設計書を作成した。 ソフト面では、旭中学校区小学校統合推進委員会を計画通り2回実施し、各専門部会が決定した協議項目について承認を得ることができた。各専門部会においては、予定していた決定すべき協議項目について、計画通り決定することができた。 ○推進委員会協議決定項目 ・学校名：銚田市立旭小学校 ・服装：私服 ・校歌：校歌作成者の選定					
評価項目		高 ◀ 事業の評価 ▶ 低		理 由	
妥 当 性		4 3 2 1 高い ■ □ □ □ 低い		令和8年4月の開校を見越すと、令和5年度中の造成工事完了及び実施設計書作成は必要不可欠である。推進委員会においても、協議事項が計画どおりに進捗していることから、妥当性は高いと考える。	
有 効 性		4 3 2 1 高い ■ □ □ □ 低い		次年度以降の業務スケジュールから、令和5年度中の造成工事完了及び実施設計書作成は有効性が高いと考える。推進委員会においても、様々な立場で構成されている委員会での協議・決定は有効性が高いと考える。	
効 率 性		4 3 2 1 高い ■ □ □ □ 低い		実施設計業務や推進委員会については、方針案の検討・評価・案の決定・承認のサイクルが必要であるが、そのような中でも漏れや手戻りがないよう進められた。	
総合評価		令和8年4月の開校に向け、令和5年度に実施すべき施設整備および推進業務を順調に完了することができた。 施設整備においては、令和6・7年度に建築工事を行うための、造成工事・実施設計業務が完了し、また、旭中学校区小学校統合推進委員会では、令和5年度に決定すべき項目も計画どおり決定することができた。 引き続き、既に統合した3校の改善点を活かし、ソフト・ハード両面で多岐にわたり検討・協議を進める必要があり、関係機関・関係者との連携を一層深め事業を推進していきたい。			

令和6年度 教育委員会の点検・評価シート(令和5年度事業)

施 策 名			指導体制の充実			所属課	指導課
事 業 名			英語指導事業				
予算科目	款	9	教育費	当 初 予 算	39,041 千円		
	項	1	教育総務費	予 算 現 額	39,041 千円		
	目	3	教育指導費	執 行 額	39,041 千円		
				予算執行率	100.0 %		
	事業	1	英語指導事業	事業進捗率	100.0 %		

事業の目的及び今年度の取組み

目 的 : グローバル化が進展する中で、グローバル社会に対応し、将来的に活躍できる人材の育成において、コミュニケーション能力の育成は必要不可欠である。そのために、小学校からの外国語活動にも目を向け、児童生徒に生きた英語に慣れさせ、コミュニケーション能力の素地を養う。

取組み : 外国語指導助手(ALT)の配置(8名)

- ・日本人教師とともに外国語(英語)の授業を実施(中学校1～3年生、小学校3～6年生)
- ・ALTが小学校1・2年生や幼稚園児とも交流することで、児童や園児が英語文化、異文化に触れる機会を設けた。

目的の達成状況

ALTを活用した授業により、児童生徒が積極的に英語を聞いたり、話したりすることにより、英語の4技能(聞く・話す・読む・書く)を高め、コミュニケーション能力の育成が図れた。

また、ALTが小学校1・2年生や幼稚園児とも交流することで、児童や園児が英語文化、異文化に触れる機会を設けるなど、ALTを活用したネイティブな英語に触れさせることで、英語に親しみ、グローバル社会に対応する意欲を向上させた。

○アンケート調査(調査対象:小学校:5・6年生、中学校:1・2・3年生)

	R5小学校	R5中学校	R4小学校	R4中学校	R3小学校	R3中学校
英語の勉強は楽しい	84.6%	74.6%	86.8%	65.1%	85.3%	63.8%
これからも英語を学び続けたい	83.5%	74.6%	86.2%	75.4%	85.6%	69.7%
外国の人たちと英語で話してみたい	73.0%	72.7%	75.7%	76.4%	72.9%	61.0%

○中学校リスニング調査(調査対象:小学校:5・6年生、中学校:1・2・3年生)

	R5小学校	R5中学校	R4小学校	R4中学校
平均正答率(応答問題、対話・英文内容理解問題等)	67.5%	50.2%	63.4%	44.7%

評価項目	高 ◀ 事業の評価 ▶ 低	理 由
妥 当 性	4 3 2 1 高い ■ □ □ □ 低い	異文化と共生する社会の形成のため、外国語教育(英語)の重要性は高く、グローバル社会に対応できる児童生徒の育成において、ネイティブのALTと直接的な英語によるコミュニケーションの機会を設けることは重要である。
有 効 性	4 3 2 1 高い ■ □ □ □ 低い	児童生徒にとってALTの発音を生で聞く生きた英語の授業は、英語に対する興味関心を高め、英語に親しみ、コミュニケーション能力の向上には効果的である。ALTとの交流により、国際理解教育の充実を図れる。
効 率 性	4 3 2 1 高い ■ □ □ □ 低い	各小中学校へ8名のALTの派遣を行い、ALTと効果的な英語の授業が実施できた。また、小学3～6年生の授業がない時間を活用し、小学校1・2年生や幼稚園児とも交流し、児童や園児が英語文化、異文化に触れる機会を設けることができた。
総合評価	ALTの活用により、生きた英語を学ぶことができ、興味関心を高めるとともに、英語の4技能の向上が図れた。さらに、自国以外の人とコミュニケーションを図る機会を得られることで、言語や文化について体験的に理解を深められるなど、グローバル社会に活躍する人材の育成のためには必要な事業である。 英語に対するアンケート調査では、「英語の勉強は楽しい」の項目でも、中学校で7割が肯定的な意見となり、英語に対する苦手意識の改善や興味関心をもって英語の授業に取り組んでいる。 また、小中学校においてリスニング調査を実施したところ、昨年度よりは正答率は上がったが、中学校では5割程度となった。弱い部分などの課題を把握・向上できるようALTと教師が連携しながら、引き続き、ALTを活用したオールイングリッシュの授業を展開し、英語の勉強が楽しいと実感できるよう授業の改善を行っていくことが必要である。	

令和6年度 教育委員会の点検・評価シート(令和5年度事業)

施 策 名			児童生徒の健全育成		所属課	指導課
事 業 名			のびのび児童生徒推進事業			
予算科目	款	9	教育費	当 初 予 算	49,220 千円	
	項	1	教育総務費	予 算 現 額	49,220 千円	
	目	3	教育指導費	執 行 額	45,759 千円	
				予算執行率	93.0 %	
	事業	4	のびのび児童生徒推進事業	事業進捗率	100.0 %	

事業の目的及び今年度の取組み

目 的： 児童生徒の心のケア、保護者や教職員に対する支援、個に応じた学習支援を進め、子供たち一人一人の状況に応じた、きめ細やかな教育の提供を目指す。

取組み： ・適応指導教室「すずらんルーム」の設置や各校へスクールカウンセラー(SC)及びスクールソーシャルワーカー(SSW)を派遣し、児童生徒の心のケア、学校生活や家庭生活における児童生徒の教育上の諸問題に関する相談業務を実施。
・学力向上支援非常勤講師を配置し、複数で授業を行い、きめ細やかな個に応じた学習支援を実施。
・小学校5・6年生、中学校1・2年生を対象として「ハイパーQUテスト」を実施し、児童生徒が抱える心の問題をいち早くキャッチし、早期対策に繋げた。

目的の達成状況

- ・適応指導教室の設置(生涯学習館内 月曜～金曜)
- ・SC(県費・市費)の派遣 6名 全小中学校 / SSW(県費・市費)の派遣 3名 小学校1校・中学校2校
- ・ハイパーQUテストの実施(対象:小学校5・6年生、中学校1・2年生/1学期末、2学期末の2回実施)
- ・学力向上支援非常勤講師の配置 計12名 全小学校

	すずらんルーム実績				スクールカウンセラーの実績		スクールソーシャルワーカーの実績	
	延べ来所者数	電話相談	訪問相談	巡回相談	派遣回数	派遣時間	派遣回数	派遣時間
R2年度	800人	183件	2件	29件	199回	1,038時間	109回	395時間
R3年度	1,422人	304件	9件	41件	214回	1,252時間	47回	140時間
R4年度	1,023人	317件	7件	51件	208回	1,207時間	56回	168時間
R5年度	1,075人	219件	0件	23件	205回	1,201時間	20回	60時間

○SC相談状況(県費SC・R5.12末調査時)

SC相談対応件数:297件、改善した件数240件(改善した割合:81%)

評価項目	高 ◀ 事業の評価 ▶ 低	理 由
妥 当 性	4 3 2 1 高い ■ □ □ □ 低い	児童生徒の心の問題をいち早くキャッチし、問題行動の未然防止や早期解決するために必要な事業である。また、学力向上支援非常勤講師の配置による学習支援についても、誰一人取り残さない授業を進めていくうえで必要である。
有 効 性	4 3 2 1 高い ■ □ □ □ 低い	多様化している児童生徒・保護者の相談について、専門的な立場からカウンセリングできるSC及びSSWの配置は効果的である。また、学力向上支援非常勤講師を配置し、複数で授業を行い、きめ細やかな授業ができたとともに、教員の負担軽減にも繋がった。
効 率 性	4 3 2 1 高い ■ □ □ □ 低い	SC及びSSWの派遣は、県費事業を活用し、不足分を市費負担にて対応することで、学校からの要望に応じた派遣を行い過不足無く実施できた。適応指導教室の運営においても、学校、教育委員会、SC、SSW、保護者と情報共有をすることで、適切な指導が実施できた。
総合評価	児童生徒の多様化・複雑化している悩みや問題行動について、今後も、各学校からの要望に応じたSC・SSWの派遣を行い、問題の未然防止・早期解決に繋げていく。 また、適応指導教室についても、引き続き、関係機関との情報共有を密におこない、適切な対応ができるよう運営していく。 学力向上支援非常勤講師の配置は、複数で授業を行い、きめ細やかな個に応じた学習支援を行ううえで必須であり、学力向上にも寄与できると考えられる。さらに、授業のサポートをすることで、教員の負担軽減にも繋がるなど、配置による効果は高い。<u>すぐに学力の向上に繋げることは難しい部分ではあるが、引き続き、学校と教育委員会が協力しながら、学力向上に繋がる授業づくりを検討・実施していくことが必要である。</u>	

令和6年度 教育委員会の点検・評価シート(令和5年度事業)

施 策 名		指導体制の充実			所属課	指導課
事 業 名		特別支援教育支援事業				
予 算 科 目	款	9	教育費	当 初 予 算	50,500 千円	
	項	1	教育総務費	予 算 現 額	51,273 千円	
	目	3	教育指導費	執 行 額	47,472 千円	
				予算執行率	92.6 %	
	事業	9	特別支援教育支援事業	事業進捗率	100.0 %	
事業の目的及び今年度の取組み						
目 的 : 教育上特別な支援を必要とする児童生徒に対し、介助、学習支援及び安全確保等の合理的配慮の提供を行うことで、誰もが安心して生活できる学校づくりを目指す。 取組み : 小中学校に在籍する教育上特別な支援を必要とする児童生徒に対して、特別支援教育支援員を配置し、一人一人に応じた適切な教育支援を行う。						
目的の達成状況 特別支援教育支援員(支援員)の配置については、教育支援委員会審議結果、指導主事や生徒指導相談員の学校訪問、学校との情報共有、学校からの要望をもとに、児童生徒の状況を把握し、特別な支援が必要な児童生徒に配置を行った。 支援員の配置により、対象児童生徒が安心した学校生活を送れるようになり、安定した学級運営にも寄与できた。 例年、支援員の人数については、人材確保が難しく、欠員が出てしまっていたが、令和5年度については、予定の人数を確保でき、適切な配置が出来た。						
○支援員の配置状況						
年度	配置学校数	配置人数				
R2年度	8小学校	21名 ※延べ22名				
R3年度	8小学校	26名 ※延べ27名				
R4年度	7小学校・1中学校	26名 ※延べ27名				
R5年度	7小学校	28名 ※延べ29名				
評価項目	高 ◀ 事業の評価 ▶ 低			理 由		
妥 当 性	4 3 2 1 高い ■ □ □ □ 低い			特別な配慮を要する児童生徒のための配置であり適切である。また、支援員配置の要望が増えてきていることから、同数程度の支援員の確保が重要である。		
有 効 性	4 3 2 1 高い ■ □ □ □ 低い			支援員の配置は、対象児童生徒の心の安定が図れ安心した学校生活を送れるようになるだけでなく、学級の安定や学校運営に大きな効果が見られ、対象児童生徒だけではなく、他の児童生徒の精神的安定にもつながっていることから有効である。		
効 率 性	4 3 2 1 高い ■ □ □ □ 低い			対象児童生徒の実態、学校の状況、支援員の状況(経験等)を考慮しながら、支援が必要な児童生徒にあった支援員の配置を行った。		
総合評価	令和5年度は、特別支援学級に在籍する児童を中心に、7小学校へ支援員を延べ29名を配置し、対象児童の安心した学校生活と、安定した学級運営に寄与できた。支援員が付くことで、対象児童の詳細の把握が可能となり、担任と共有することで、一人一人のニーズに応じたきめ細やかな教育につなげることが出来た。 また、支援員の支援力向上のため、生徒指導相談員が配置学校へ訪問し、研修を実施したり、指導主事等とともに個別面談を実施したりした。さらに、特別支援学級担当の教員に対しても研修会を実施し、学級全体の支援力の向上に努めた。 支援員配置の要望は増加傾向ではあるが、予算や人材確保の点で難しさがある中で、関係機関との密な情報共有を行い、今後も、支援が必要な児童生徒の状況を把握し、適切な配置を行っていく。					

令和6年度 教育委員会の点検・評価シート(令和5年度事業)

施 策 名		生涯学習活動の活性化		所属課	生涯学習課
事 業 名		家庭教育支援事業			
予 算 科 目	款	9	教育費	当 初 予 算	1,288 千円
	項	5	社会教育費	予 算 現 額	1,588 千円
	目	1	社会教育総務費	執 行 額	1,470 千円
				予算執行率	92.6 %
	事業	8	家庭教育支援事業	事業進捗率	100.0 %
事業の目的及び今年度の取組み 目 的 : 家庭の教育力向上を図るため、保護者への学習機会を子どもの発達段階に応じて提供する。 取組み : 幼稚園及び小・中学校に「家庭教育学級」を開設いただき活動を支援。 就学時健診の待ち時間を活用した「学童期子育て講座」の開催。 訪問型家庭教育支援事業の実施。					
目的の達成状況 幼・小・中学校全15学級659名で開設した家庭教育学級においては、話し合いを基本とした講話型・サロン型の学習や親子体験の活動など様々な取組を実施した。1月には、子どもとの関わり方を見直すきっかけとなるよう、齊藤文江先生を講師とし家庭教育全体研修会を行い、46名が参加した。 就学時健診の待ち時間を活用した「学童期子育て講座」では、「入学に向けての親の心構え」をテーマとした講話に加え、グループワークを通して保護者同士がつながれる場を設定した。 訪問型家庭教育支援事業においては、4人の家庭教育支援員が、保護者からの相談への対応や保護者への情報提供などに取り組み、訪問74件、電話相談172件、メールでの相談42件があった。					
評価項目	高 ◀ 事業の評価 ▶ 低		理 由		
妥 当 性	4 3 2 1 高い ■ □ □ □ 低い		目的は明確で、社会教育の中でも上位の施策としている。 県では重点施策としている。		
有 効 性	4 3 2 1 高い ■ □ □ □ 低い		子どもの発達段階に応じた事業の開催であるため、概ねの保護者はカバーできている。 家庭の教育力向上に有効である。		
効 率 性	4 3 2 1 高い □ ■ □ □ 低い		専門的知識を必要とするため、人材確保とコスト削減が難しい。 経費及び対象範囲は概ね適正であるが、講師等の人材確保が難しい。		
総合評価	家庭の教育力の低下が指摘されるなか、ますます家庭教育学習の機会や地域の教育力の向上が重要となっている。それに対する取り組みとして、子どもの発達段階に併せた学習機会を保護者に提供し、家庭の教育力の向上を図ってきた。今年度は、家庭教育学級において、グループワークを積極的に行い、家庭教育に関して情報共有できる子育て仲間を増やすことを目標とした取組をしてきた。また、学級生対象のアンケートを実施し、子育て世帯の困り感を把握し、訪問型家庭教育支援員が相談活動を行った。継続支援している家庭では、外国籍家庭もあり、対応に苦慮する案件が多くなってきており、支援員の人材育成、確保が課題となっている。				

令和6年度 教育委員会の点検・評価シート(令和5年度事業)

施 策 名		青少年健全育成の推進		所属課	生涯学習課
事 業 名		二十歳の集い事業			
予算科目	款	9	教育費	当 初 予 算	1,236 千円
	項	5	社会教育費	予 算 現 額	1,494 千円
	目	1	社会教育総務費	執 行 額	1,280 千円
				予算執行率	85.7 %
	事業	12	青少年育成事業	事業進捗率	100.0 %
事業の目的及び今年度の取組み 目 的 : 20歳を迎えた成人者に対し、祝福と激励を送り、社会人としての責任ある行動をとるよう自覚を促す。 取組み : 20歳を迎えられる方と次年度に20歳を迎えられる方の代表により、二十歳の集い実行委員会を組織し、実行委員長を中心に式典の企画、運営等の協議を行った。 ○令和6年二十歳の集い: 令和6年1月7日(日)実施 (実行委員30名) ・実行委員会 計7回(リハーサル含む) ・式典出席者 323名(出席率68.3%)					
目的の達成状況 令和6年二十歳の集いは、4年ぶりに銚田総合公園体育館を会場に一堂に会し開催することができた。実行委員の運営・進行のもと、多くの来賓にも出席いただき、家族など観客を入れた盛大な式典となった。 実行委員会で屋外写真スポット看板のデザイン等を協議し、製作・設置したほか、当日の式典の様子の一部について、YouTubeライブ限定配信を行い、20歳を迎えられる方等が記憶に残る式典となるよう努めた。					
評価項目	高 ◀ 事業の評価 ▶ 低		理 由		
妥 当 性	4 3 2 1 高い ■ □ □ □ 低い		式典は、大人の仲間入りの行事として定着している。 企画・運営は、二十歳の集い実行委員会で行い、式典準備や事務などは事務局(市)が行う。実行委員会と事務局がそれぞれの役割を果たし、連携して開催準備などが進められている。		
有 効 性	4 3 2 1 高い ■ □ □ □ 低い		20歳の成人が主体的に企画運営する式典となっており、式典の出席率は高く、事業への関心は非常に高い。 なお、20歳の対象者には、多くの外国人技能実習生が含まれており、実質的な式典出席率は78.3%となる。		
効 率 性	4 3 2 1 高い ■ □ □ □ 低い		20歳の方自ら運営・企画し開催する式典は、若者の考えが反映した式典となっている。当日の運営スタッフとして、高校生ボランティア、青少年健全育成団体に協力要請を行っている。「人生において大切な行事」「節目」として捉えている若者の意見が多く、当市の未来を担う若者への投資とみてもよいと考える。また、開催費用以上に間接的な経済効果(理美容業、呉服業、飲食業)があるものと見込まれる。		
総合評価	実行委員会の運営においては、引き続き、実行委員からの呼びかけや中学校への協力を依頼することにより人材の確保に努める。また、遠方の実行委員に対し、協議が遅延することのないようZoomによる会議を行っていく。 式典当日は、ボランティアの協力を得て、教育委員会の部署間の連携・強化を図りながら式典運営に努めた。結果として、混乱もなく厳粛かつ和やかなうちに式典を終了することができた。				

令和6年度 教育委員会の点検・評価シート(令和5年度事業)

施 策 名		青少年健全育成の推進		所属課	生涯学習課
事 業 名		花いっぱい運動事業			
予算科目	款	9	教育費	当 初 予 算	291 千円
	項	5	社会教育費	予 算 現 額	291 千円
	目	1	社会教育総務費	執 行 額	266 千円
				予算執行率	91.4 %
	事業	12	青少年育成事業	事業進捗率	100.0 %
事業の目的及び今年度の取組み 目 的 : 地域の住民、児童・生徒の環境美化に対する関心や意欲を高めるとともに、花づくりを通して地域コミュニティの再生・活性化を促進し、青少年の健全育成を図る。 取組み : 花いっぱい運動に取り組んでいる団体(幼稚園、保育所(園)、小中学校、希望団体、職場等)の活動を支援するため、花の種を配布した。また、花を育てることを通して、まちづくりや人づくりに取り組んでいる団体を紹介し、花いっぱい運動の輪を広げるため、花いっぱいコンクールを開催し優れた取り組みを表彰するほか、活動成果の周知を図った。					
目的の達成状況 花の種子を35団体に配布した。市独自に花いっぱいコンクールを開催し、参加した19団体の現地審査、表彰式を開催した。また、団体の活動成果として、花壇等の写真を市内4か所(各公民館、旭総合支所)にパネル展示にて披露し、市民に広く周知を図るとともに、チャレンジいばらき県民運動が取り組む「花いっぱい運動定着化促進事業」の情報提供を行った。各団体は環境美化への意識が高く、市内の環境美化運動及び青少年の健全育成へと繋がっている。 【参考(令和4年度)】 花の種子配布 33団体、コンクール参加 15団体					
評価項目		高 ◀ 事業の評価 ▶ 低		理 由	
妥 当 性		4 3 2 1 高い □ ■ □ □ 低い		地域の住民、児童・生徒の環境美化に対する関心を高める意義は高い。活動団体は横ばいの状態が続いている。背景には関わる者の高齢化や地域コミュニティの衰退などが考えられる一方で、広報活動による一定の効果があったものと思われる。環境美化事業としては、妥当性高く、青少年健全育成へと繋がっている。	
有 効 性		4 3 2 1 高い ■ □ □ □ 低い		種子の配布や市花いっぱいコンクールの実施などで、市内各所にある花壇が整備され、環境美化に貢献している。	
効 率 性		4 3 2 1 高い □ ■ □ □ 低い		参加者の意欲は高く、地域の交流や子どもたちの通学時のあいさつ声かけ運動にも繋がっている。また、奉仕活動などを通じて、地域のふれあいの場となっており、地域を元気にしようとする取り組みの一助として意義は高いと言える。市から花の種子を無料配付しているが、種からの花づくりのため、生育の苦勞が見受けられる。	
総合評価		団体構成員の高齢化や小学校の統廃合が進行している中ではあるが、種子配布団体が2団体、コンクール参加団体が4団体増加するなど、周知活動に一定の成果があったと考える。今後も周知方法等を検討し、趣旨の理解を深め、運動の広がりを図るように努める。参加団体の環境美化への意識は非常に高い。また、コンクールにより評価されることで目的意識を持つことができています。地域コミュニティの衰退が危惧される中、地域コミュニティの輪を広げる機会創出の一端を担っている。			

令和6年度 教育委員会の点検・評価シート(令和5年度事業)

施 策 名		生涯学習活動の活性化		所属課	生涯学習課
事 業 名		放課後子供教室推進事業			
予算科目	款	9	教育費	当 初 予 算	876 千円
	項	5	社会教育費	予 算 現 額	873 千円
	目	1	社会教育総務費	執 行 額	580 千円
				予算執行率	66.4 %
	事業	15	放課後子供教室推進事業	事業進捗率	100.0 %
事業の目的及び今年度の取組み 目 的 : 放課後や週末等に子どもたちの安全・安心な居場所を提供するため、小学生を対象に、公民館等を活動拠点として自主学習の支援や多様な学習・体験プログラムを実施し、教育活動の充実を図る。 取組み : 毎月1回土曜日に、とくしゅくの杜、旭・大洋公民館を活用し、学習支援員による補充学習、おもしろ理科先生を外部講師とした体験学習の実施した。 学習支援員に対し、事前打合せ会を開催して情報共有を図るとともに、外部講師との連絡を密にし、事業運営をスムーズに行った。					
目的の達成状況 すべての体験学習講座を新たに設けて実施したところ、参加した児童や保護者から好評が得られた。 ○銚田で学び隊 ・旭教室(旭公民館)、銚田教室(とくしゅくの杜)、大洋教室(大洋公民館) ・延べ開催数 22回 ・延べ参加者数(延べ申込者数) 173人(193人) ・事業参加周知 広報ポスター・チラシ作成・配布 4回、広報ほこた掲載(令和5年6月号)、SNS掲載					
評価項目		高 ◀ 事業の評価 ▶ 低		理 由	
妥 当 性		4 3 2 1 高い ■ □ □ □ 低い		児童の安全な場所づくり、勉強等のために、放課後子供教室の必要性は高い。また、行政が行うことで、保護者も安心して児童を参加させることができる。	
有 効 性		4 3 2 1 高い ■ □ □ □ 低い		対象を市全域の小学校とし、事業の意図と受益者は整合している。 体験学習を取り入れた活動を実施することは、直接的な学ぶ機会の提供になり、有効と考える。	
効 率 性		4 3 2 1 高い □ ■ □ □ 低い		講師謝礼は安価に設定されており、材料費等は参加者負担となっている。また、会場となっている公民館等の有効活用としても効果がある。	
総合評価		インフルエンザの影響等により、申込み後に参加を辞退する方も出たが、開催回数はある程度実施できたため、多くの児童の居場所が確保できた。 また、異学年の児童との交流が図られ、子どもの成長を育むことができたとともに、体験学習を通じて、リピーターを増やすことができた。 今後、新規の参加者の確保のため、児童が興味を持つ講座を検討するとともに、地域資源と人材の活用等について検討し、地域協力者等を確保することが必要である。			

令和6年度 教育委員会の点検・評価シート(令和5年度事業)

施 策 名		生涯学習活動の活性化			所属課	生涯学習課
事 業 名		生涯学習館管理運営事業				
予算科目	款	9	教育費	当初予算	17,694 千円	
	項	5	社会教育費	予算現額	18,116 千円	
	目	1	社会教育総務費	執行額	16,881 千円	
				予算執行率	93.2 %	
	事業	18	生涯学習館管理運営事業	事業進捗率	100.0 %	
事業の目的及び今年度の取組み 目 的 : 市民・地域と協働・連携を図りながら、社会教育事業をはじめとする各種事業の円滑な推進し、効率的な運営を行う。銚田市の魅力を市内外に発信する。 取組み : 運営ボランティア活動(体験事業のサポート、展示物の清掃等)・企画展の実施・来館者の案内 小学生、幼稚園児向けの事業の実施 講座・講演会の開催						
目的の達成状況 とくしゅくの杜市民学芸員運営協議会と共催による企画展の実施(2回) 体験事業(小学生対象)の実施 校外学習の活用^{の場として提供}(8小中学校2幼稚園 604人) 古文書講座、<u>市民学芸員養成講座</u>の開催						
評価項目		高 ◀ 事業の評価 ▶ 低		理 由		
妥 当 性		4 3 2 1 高い ■ □ □ □ 低い		閉校小学校を改修し、学習・展示棟として活用している。歴史史料等を展示しており、多くの来館者が期待できる。		
有 効 性		4 3 2 1 高い ■ □ □ □ 低い		銚田市にまつわる土器や石器等の展示のほか、企画展を開催することで銚田市の歴史、文化を伝えることができる。		
効 率 性		4 3 2 1 高い ■ □ □ □ 低い		銚田市文化展示場(あけぼの館)を廃止したり、点在している歴史史料等を集約することで、それらを活用するための利便性向上を図ることができる。		
総合評価		とくしゅくの杜市民学芸員等の協力を得ながら、市民協働の場として事業を展開することができた。 企画展については、市外、県外からの来館者もいたことから、歴史・文化に対する関心はかなり高いといえる。 校外学習で学んだ子どもが後日、親子連れで来館した例もあり、来館者が一過性のものにならないよう魅力ある生涯学習館づくりを努めることができた。				

令和6年度 教育委員会の点検・評価シート(令和5年度事業)

施 策 名		社会の変化に対応する教育の推進		所属課	生涯学習課
事 業 名		イングリッシュ・キャンプ事業			
予算科目	款	9	教育費	当 初 予 算	1,566 千円
	項	5	社会教育費	予 算 現 額	1,551 千円
	目	1	社会教育総務費	執 行 額	1,416 千円
				予算執行率	91.3 %
	事業	19	イングリッシュ・キャンプ事業	事業進捗率	100.0 %
事業の目的及び今年度の取組み 目 的 : 学校で学んだ英語を最大限に活用できる機会を提供し、ネイティブスピーカーとの交流や異文化体験を通して、国際理解を深め、英語のコミュニケーション能力向上を図る。 取組み : 適切な対象者を選考するため、選考委員会を開催したほか、研修に対する不安を払拭するために事前説明会(保護者同伴)を実施した。 海外等での様々なシチュエーションで役に立つ英語表現を身につけられるようなレッスン内容とするため、現地スタッフと連絡調整を図った。 派遣生の研修で得た成果を研修報告書にまとめた。					
目的の達成状況 選考委員会での面接は、委員による厳粛なる審査を行えた。派遣生が目標を持ち、積極的に研修に取り組むことができる内容を提供できた。また、研修期間中は現地スタッフと連絡調整を密にするとともに、研修生同士のコミュニケーションの配慮に努めることができた。 ○ 研修先 ブリティッシュヒルズ (福島県岩瀬郡天栄村大字田良尾字芝草1-8) ○ 研修期間 令和5年8月28日(月)～8月29日(火)1泊2日 ○ 派遣生 27名					
評価項目		高 ◀ 事業の評価 ▶ 低		理 由	
妥 当 性		4 3 2 1 高い ■ □ □ □ 低い		将来の鉾田市を担う国際感覚を持った人材育成することは妥当である。 応募資格は、市内に在住している中学1学年から3学年に在籍している生徒を対象としている。	
有 効 性		4 3 2 1 高い ■ □ □ □ 低い		中学校の新学習指導要領では、より「話すこと」を重視した学習内容となっており、生徒のニーズに応えた適切なサービス提供がなされている。	
効 率 性		4 3 2 1 高い □ ■ □ □ 低い		派遣参加の生徒数は限定的であるが、全生徒の学習目標ともなりえる事業であり、波及効果は高い。 派遣については、他事業に比べ一人当たりの育成にかかるコストは高いが、受益者から費用の一部を負担させている。	
総合評価		異文化体験等を通じて、学習している英語を実際に使用し生活することにより、その活用力の向上を図れた。また、短い期間でも社会性、協調性、集団行動における規範意識を身に付けさせ、研修生の親睦を図り有意義な研修とすることができた。 引率者の教諭と協力し、怪我等する人を出すことなく、すべての日程を終了し、全員無事に帰路につくことができた。また、保護者に対してはスマホを利用したオープンチャットを活用し、派遣生の活動様子を写真に収めたり、バスの移動状況をお知らせし安心感を与えることができた。研修先でしか体験できない「本物」に触れる充実したプログラムを提供できた。			

令和6年度 教育委員会の点検・評価シート(令和5年度事業)

施 策 名		文化財の保護・啓発		所属課	生涯学習課
事 業 名		文化財保護・啓発事業			
予算科目	款	9	教育費	当 初 予 算	1,492 千円
	項	5	社会教育費	予 算 現 額	1,492 千円
	目	4	文化財保護費	執 行 額	1,413 千円
				予算執行率	94.7 %
	事業	1	文化財保護・啓発事業	事業進捗率	100.0 %
事業の目的及び今年度の取組み 目 的 : 市民が郷土の歴史を理解し、関心を高め郷土愛を育むための各種取組を実施するとともに、指定文化財等の保護に資する事業を推進する。 取組み : 文化財保護審議会の運営 埋蔵文化財の照会に係る調査 指定文化財の保護に資する補助事業等の実施(2件:ヒサカキ、イスノキ)					
目的の達成状況 文化財保護審議会の開催(指定文化財巡視活動等) 埋蔵文化財照会317件(699筆)、試掘調査6件 茨城県文化課と合同の文化財巡視(年2回延べ44か所) 鹿行文化財研究会実施の研修会の参加 文化財警防訓練 指定文化財の保護に資する補助事業等の実施					
評価項目		高 ◀ 事業の評価 ▶ 低		理 由	
妥 当 性		4 3 2 1 高い ■ □ □ □ 低い		文化財は市民共有財産として、次世代へ継承していく責務があり、保護啓発に係る事業は公益性が高い。 また、文化財は地域づくり、地域振興には欠かせないものであり、地域資源として保護・活用していくことが望まれる。	
有 効 性		4 3 2 1 高い □ ■ □ □ 低い		次世代を担う子どもたちが文化財に触れることを通して、地域の歴史や文化を理解する一助になるとともに、郷土愛を育むことに大きく寄与する。	
効 率 性		4 3 2 1 高い □ ■ □ □ 低い		埋蔵文化財照会は増加傾向にあり、確認に時間を要していたが、令和3年度にシステムを導入したことにより、確認作業が容易になり、事務の効率化が図られている。	
総合評価		市内にある貴重な文化財等を周知、活用するなどの取組みを進めていく。 文化財の保護に関しては、所有者、管理者の負担軽減を図るため継続して補助金の確保に努めていく必要がある。文化財は従来の保護を重点とした取組みに加え、全国的に活用が進展し、文化財に対する市民の関心が高まっている。新たな文化財の指定や地域の掘り起こしなどの各種取組みが今後増加していくことが予想され、事業を継続していく必要性は高い。			

令和6年度 教育委員会の点検・評価シート(令和5年度事業)

施 策 名		スポーツ・レクリエーション活動の推進		所属課	生涯学習課
事 業 名		スポーツ推進事業			
予 算 科 目	款	9	教育費	当 初 予 算	4,753 千円
	項	6	保健体育費	予 算 現 額	4,753 千円
	目	1	保健体育総務費	執 行 額	4,287 千円
				予算執行率	90.2 %
	事業	3	スポーツ推進事業	事業進捗率	100.0 %
事業の目的及び今年度の取組み 目 的 : 市民がスポーツに触れ合える機会を提供し、スポーツの持つ楽しさや交流を通じて、市民の健康意識向上及び健康増進、また、競技水準の向上を図る。 取組み : 県内の中学校を招待し、軟式野球大会、剣道大会及び柔道大会を開催した。 春季・秋季卓球教室、バドミントン教室、小学生フラッグフットボール教室を開催した。 市スポーツ協会、市スポーツ少年団に補助金を交付し活動を支援した。 目的の達成状況 第21回銚田市中学校軟式野球大会(参加24校)を従来通り開催するとともに、4年ぶりに、第18回銚田市中学校柔道大会(参加校8校)、第18回銚田市中学校剣道大会(参加校20校)を開催することができた。 卓球教室(春季・秋季)及びバドミントン教室を開催し、延べ人数として、概ね500名が参加した。市スポーツ少年団においても、スポ少まつり兼青空ブロック交流会を開催した。 また、小学生フラッグフットボール教室を開催し、熱中症警戒アラートで中止した1校を除いた6校370名の児童が受講した。					
評価項目	高 ◀ 事業の評価 ▶ 低		理 由		
妥 当 性	4 3 2 1 高い □ ■ □ □ 低い		スポーツ大会については、中学生の実践を通じた技術の向上に寄与している。		
有 効 性	4 3 2 1 高い □ ■ □ □ 低い		スポーツ大会については、青少年の健全育成、他校生徒との交流を図ることができる。 スポーツ教室を開催することにより、市民がスポーツに親しむ機会を提供することができる。		
効 率 性	4 3 2 1 高い □ ■ □ □ 低い		軟式野球大会については、銚田ライオンズクラブ、市内中学校の協力により実施している。 各種教室、大会の開催については、連盟(スポーツ協会)の協力により実施している。		
総合評価	銚田市軟式野球大会のほか、柔道大会及び剣道大会を開催することができた。その他、昨年度開催した卓球教室(春季・秋季)のほか、バドミントン教室、小学生フラッグフットボール教室及びスポーツ体験教室を開催できた。また、スポーツ少年団の行事についても、スポ少まつり兼青空ブロック交流会を実施できた。 スポーツ教室の開催は、市民がスポーツに親しむ機会を提供することができる。さらに、スポーツ大会の実施は、青少年の健全育成に大きく寄与することから新たな参加者の獲得に努めるとともに、アメリカンフットボール/フラッグフットボールの普及・振興等について推進していく。				

令和6年度 教育委員会の点検・評価シート(令和5年度事業)

施 策 名			スポーツ・レクリエーション活動の推進		所属課	生涯学習課												
事 業 名			スポーツクライミング推進事業															
予 算 科 目	款	9	教育費	当 初 予 算	118,052 千円													
	項	6	保健体育費	予 算 現 額	118,052 千円													
				執 行 額	117,162 千円													
				予算執行率	99.3 %													
	事業	7	スポーツクライミング推進事業	事業進捗率	100.0 %													
事業の目的及び今年度の取組み 目 的 : スポーツクライミング専用施設であるとくしゅくの杜スポーツクライミングセンターを活用し、クライミング競技会や体験教室等を開催することにより、スポーツクライミングの拠点づくりを目指すとともに、市の魅力発信につなげる。 取組み : クライミング体験教室を開催し、生涯スポーツの一環として、スポーツを楽しむ機会を提供した。クライミングウォールを使用するための講習会を開催し、スポーツクライミングセンターの利用促進に努めた。全国大会をはじめ各種大会を開催し、スポーツクライミングと鉾田市の魅力を広く発信した。																		
目的の達成状況 <table border="0"> <tr> <td>クライミング体験教室(鉾田登り隊！)</td> <td>9回開催</td> <td>延べ人数 186名</td> </tr> <tr> <td>クライミングウォール使用資格認定講習会</td> <td>4回開催</td> <td>参加人数 67名</td> </tr> <tr> <td>小学生クライミング教室</td> <td>7校開催</td> <td>参加人数 325名</td> </tr> <tr> <td>スポーツクライミング競技大会</td> <td>4回開催</td> <td></td> </tr> </table> とくしゅくの杜メロンカップ(主催大会)、ユースフューチャーカップ鉾田2023(全国大会)等 駐車場等整備工事 クライミングウォール移設工事(鉾田総合公園からスポーツクライミングセンターへ移設)							クライミング体験教室(鉾田登り隊！)	9回開催	延べ人数 186名	クライミングウォール使用資格認定講習会	4回開催	参加人数 67名	小学生クライミング教室	7校開催	参加人数 325名	スポーツクライミング競技大会	4回開催	
クライミング体験教室(鉾田登り隊！)	9回開催	延べ人数 186名																
クライミングウォール使用資格認定講習会	4回開催	参加人数 67名																
小学生クライミング教室	7校開催	参加人数 325名																
スポーツクライミング競技大会	4回開催																	
評価項目		高 ◀ 事業の評価 ▶ 低		理 由														
妥 当 性		4 3 2 1 高い ■ □ □ □ 低い		国体で開催したスポーツクライミングを普及させることで、運動を通して、健康づくりに取り組む意識の向上が図れる。全国大会等を開催することで、スポーツクライミングセンターを広く周知することができる。														
有 効 性		4 3 2 1 高い ■ □ □ □ 低い		クライミング体験教室を開催することで、生涯スポーツの一環として、スポーツを楽しむ機会を提供することができる。講習会を実施することで、安全にスポーツクライミングを楽しむことができる。														
効 率 性		4 3 2 1 高い ■ □ □ □ 低い		茨城県山岳連盟の協力を得て効率的に実施している。小学校と連携を図り、小学6年生を対象とした体験教室を実施している。														
総合評価		体験教室を開催することにより、市民にスポーツに親しむ機会を提供することができた。スポーツ実技の指導及びスポーツに関する指導・助言を行うことにより、クライミングの普及向上が図れた。 スポーツクライミングセンターでとくしゅくの杜メロンカップ及びユースフューチャーカップ2023(全国大会)等を開催し、広く市内外へPRすることができた。 駐車場整備とクライミングウォールを移設したことで施設の充実と拠点化が図れた。スポーツクライミングと当市の魅力を継続し広くPRしていく。																

令和6年度 教育委員会の点検・評価シート(令和5年度事業)

施 策 名		スポーツ・レクリエーション活動の充実		所属課	生涯学習課
事 業 名		体育施設管理事業			
予 算 科 目	款	9	教育費	当 初 予 算	282,095 千円
	項	6	保健体育費	予 算 現 額	282,949 千円
	目	2	体育施設費	執 行 額	276,734 千円
				予算執行率	97.8 %
	事業	1	体育施設管理事業	事業進捗率	100.0 %
事業の目的及び今年度の取組み 目 的 : 公共施設等総合管理計画及び個別施設計画に基づき、市民が身近にスポーツに親しむことができるよう施設の利用促進に向けて、施設の維持管理及び施設の機能充実を図る。 取組み : 老朽化した施設の修繕を実施し利用者の安全確保に努めた。また、施設の改修を実施し、利用者の利便性の向上に努めた。					
目的の達成状況 施設管理 旭スポーツセンター、鉾田総合公園、くぬぎの森スポーツ公園、大洋運動場、大洋武道館等の管理及び閉校小学校体育館等の管理。 主要工事 旭スポーツセンター野球場バックネット改修工事 大洋武道館改修工事					
評価項目	高 ◀ 事業の評価 ▶ 低		理 由		
妥 当 性	4 3 2 1 高い ■ □ □ □ 低い		スポーツ振興及び施設の利用促進のため、維持管理することや、修繕・改修を施すことは必要である。今後も利用者の安全面や利便性を考慮しながら、計画的に実施していきたい。		
有 効 性	4 3 2 1 高い ■ □ □ □ 低い		体育施設の維持管理や環境整備は、市民のスポーツ振興及び健康増進並びに利用者の安全確保に有効である。		
効 率 性	4 3 2 1 高い ■ □ □ □ 低い		改修等を行う際は、可能な限り集中的に工事を実施することで、施設の利用に支障が出ないように努めた。		
総合評価	体育施設の維持管理や修繕・改修は、サービス水準を維持していくためにも必要な事業である。限られた財源のなかで、最大限の効果が発揮できるよう緊急性や必要性を考慮しながら遂行していきたい。 今後も市民が安心して安全にスポーツに親しむことができる環境づくりのため、計画的な維持管理を行う必要がある。				

令和6年度 教育委員会の点検・評価シート(令和5年度事業)

施 策 名		生涯学習活動の活性化			所属課	公民館
事 業 名		公民館維持管理事業				
予算科目	款	9	教育費	当 初 予 算	44,853 千円	
	項	5	社会教育費	予 算 現 額	45,871 千円	
	目	2	公民館費	執 行 額	41,824 千円	
				予算執行率	91.2 %	
	事業	2	公民館維持管理事業	事業進捗率	100.0% %	
事業の目的及び今年度の取組み 目 的 : 文化振興を図るとともに市民一人ひとりへの学習機会づくり、生涯を通じて「学ぶ」体制づくりに努める。 取組み : 鉾田中央・旭・大洋公民館における施設及び設備等を良好に維持するため保守点検・修繕を実施する。 法定検査18件、保守点検48件、修繕・交換・購入等32件の実施 [保守点検等内容]電気工作物、自動ドア、消防用設備、地下油槽タンク、浄化槽、水質、空調設備等 [修繕・整備箇所]大洋公民館修繕工事、中央公民館・旭公民館非常用照明修繕、大洋公民館冷温水機モーター交換、中央公民館防災絨毯貼替、中央公民館自火報設備修繕等						
目的の達成状況 施設及び設備等において法定検査・保守点検を実施し、修繕・交換を行い環境改善を図った。 主なものとして、鉾田中央公民館の消防用設備・非常用照明設備の修繕、旭公民館の非常用照明設備の修繕、樹木伐採工事、大洋公民館の修繕工事(防水・外壁等)、空調設備の修繕、排水管の修繕等を行った。						
評価項目		高 ◀ 事業の評価 ▶ 低		理 由		
妥 当 性		4 3 2 1 高い ■ □ □ □ 低い		公民館は社会教育の活動拠点として、利便性の向上を図るため、施設及び設備の維持修繕は必要である。		
有 効 性		4 3 2 1 高い ■ □ □ □ 低い		学習の場所を提供するため、安全・快適な環境を整えることで、多くの市民に使用していただいている。		
効 率 性		4 3 2 1 高い □ ■ □ □ 低い		公民館3館は、施設及び設備等の老朽化により著しい機能低下があるため、改修工事及び修繕費用が増加傾向である。		
総合評価		<u>社会教育の活動拠点として、市民の教育活動の場所を提供している。改修及び修繕を行うことにより、安全・快適に利用できる環境を整えてきたが老朽化により修繕等費用が増加傾向のため、今後においては公共施設一体整備を見据えて、安心・安全を最優先にし、維持管理に努める必要がある。</u>				

令和6年度 教育委員会の点検・評価シート(令和5年度事業)

施 策 名			郷土の自然・伝統・文化を継承し、生涯を通じて学び、活躍できる環境の充実			所属課	公民館
事 業 名			公民館運営事業				
予算科目	款	9	教育費	当 初 予 算	6,166 千円		
	項	5	社会教育費	予 算 現 額	6,166 千円		
	目	2	公民館費	執 行 額	5,363 千円		
				予算執行率	87.0 %		
	事業	3	公民館運営事業	事業進捗率	144 %		

事業の目的及び今年度の取組み

目 的 : 文化振興を図るとともに市民一人ひとりへの学習機会づくり、生涯を通じて「学ぶ」体制づくりに努める。

取組み : 公民館運営審議会(2回) 公民館講座等(成人・青少年・高齢者 予定75回 開催108回)
 [成人教育] 定期講座(28回) 短期講座(33回)の開催
 [青少年教育]定期講座(16回)短期講座(18回)の開催 [高齢者教育]3大学各4回、移動学習1回
 [常設展示] 公民館講座及び定期クラブ等の作品展の開催

目的の達成状況

公民館運営審議会を開催し、事業進捗及び利用状況の報告、次年度事業計画等の審議を行った。
 成人教育は、定期講座28回 短期講座33回の開催、延べ参加者737名、参加者満足度97.85%
 青少年教育は、定期講座16回 短期講座18回の開催、延べ参加者525名、参加者満足度94.50%
 公民館クラブ等展示は、鉾田中央公民館(6団体)、大洋公民館(3団体)が実施。
 高齢者教育は、12回開催。延べ参加者507名。講師登録支援は、登録者が4名。

評価項目	高 ◀ 事業の評価 ▶ 低	理 由
妥 当 性	4 3 2 1 高い ■ □ □ □ 低い	社会教育の活動拠点として、市民の教育活動の場所と学習機会を提供している。 <u>講座等は参加者アンケートを参考に計画しており、参加者の満足度も高かった。</u>
有 効 性	4 3 2 1 高い ■ □ □ □ 低い	例年、多数の受講申込があり、参加者の満足度も高い。生涯学習の貴重な機会として機能している。 <u>また、ICTに関する講座を実施するなど、市民のICTリテラシーの向上につながっている。</u>
効 率 性	4 3 2 1 高い □ ■ □ □ 低い	講座や講演の講師料などの経費については、必要最低限のものとしている。また、出前で派遣される講師などを活用し、コスト削減に努めている。
総合評価	各種講座や教室の開催により、市民の自主的な学習意欲の向上と仲間づくりをととした生きがいづくりの推進に努めることができた。 <u>実施した講座等について、一部オンライン配信を行うことで、欠席の方への対応や、講座の復習の補助となるよう、効果的な事業運営が出来た。</u>	

令和6年度 教育委員会の点検・評価シート(令和5年度事業)

施 策 名		文化・芸術活動の活性化			所属課	公民館
事 業 名		芸術文化創造事業				
予算科目	款	9	教育費	当 初 予 算	22,742 千円	
	項	5	社会教育費	予 算 現 額	22,273 千円	
	目	2	公民館費	執 行 額	21,198 千円	
				予算執行率	95.2 %	
	事業	9	芸術文化創造事業	事業進捗率	100.0% %	
事業の目的及び今年度の取組み 目 的 : 質の高い公演やアウトリーチ及び芸術団体への支援等を実施することで、市民が多様な文化に触れる機会を創出し、芸術文化活動の振興を図る。 取組み : 芸術文化鑑賞(ホール公演)の開催(公演12回)、市民劇団(練習月2回・公演2回)・市民合奏団(練習月2回・公演1回)への活動支援 音楽アウトリーチ(16公演・市内幼稚園・小中学校)、楽器別クリニック(4中学校) ミュージカルワークショップ(計2回)、芸術文化振興事業補助金の交付(1団体)						
目的の達成状況 市民が多様な、文化に触れる機会を創出するために、クラシック、邦楽、ファミリーコンサート、お笑いライブなどを実施するとともに、親子で楽しめる映画鑑賞会を初開催したことや、市民劇団・合奏団による定期公演を開催し、入場者数は延べ2,817人(1公演当たり187.8人/定員300人)となり、一部YouTube配信を実施するなど、<u>市民へ多様な文化に触れる機会を提供した。</u>また、市内の幼稚園・小中学校において実施したアウトリーチでは、クラシック、邦楽、声楽、人形劇などのミニコンサートを行い、延べ2,380人の子どもたちへ音楽の素晴らしさを届けることができた。						
評価項目	高 ◀ 事業の評価 ▶ 低		理 由			
妥 当 性	4 3 2 1 高い ■ □ □ □ 低い		文化・芸術は心豊かな生活を実現していくために必要不可欠なものであり、一人でも多くの市民が多様な文化・芸術を享受できるよう事業を推進する必要がある。			
有 効 性	4 3 2 1 高い ■ □ □ □ 低い		プロのアーティスト等による高い芸術文化に触れる機会を提供することに努めており、観覧者へのアンケートにおいても「満足」の回答は9割を超え、事業の効果は直接的であり、極めて有効な事業である。			
効 率 性	4 3 2 1 高い □ ■ □ □ 低い		コンサート等の提供型イベント開催だけではなく、市民参加型の市民劇団・合奏団・文化活動団体への支援により団体の自主的な活動を促した。また事業費に応じて有料公演(15公演中10公演)にするなど費用対効果を考慮して事業を実施した。			
総合評価	幅広い年齢層の方に文化芸術に触れる機会を創出するため、新たに親子映画鑑賞会を実施し、芸術文化の振興を図った。公民館ホールにおける舞台の狭小さ、限られた観覧席数の中で、より多くのお客様に公民館へお越しいただき、いかに多くの方へ文化芸術に触れる機会を提供していくかが今後の課題である。引き続き、学校や関係部局と連携しつつ、SNS等を活用した広報も活用しながら新たな公民館利用者を獲得するなど、市民の文化意識の向上を図るため積極的に各事業を展開していく。					

令和6年度 教育委員会の点検・評価シート(令和5年度事業)

施 策 名			地域資源を活用した生涯学習活動の活性化		所属課	図書館
事 業 名			図書館維持管理事業			
予 算 科 目	款	9	教育費	当 初 予 算	15,518 千円	
	項	5	社会教育費	予 算 現 額	15,494 千円	
	目	3	図書館費	執 行 額	15,403 千円	
				予算執行率	99.4 %	
	事業	2	図書館維持管理事業	事業進捗率	100.0 %	
事業の目的及び今年度の取組み 目 的 : 生涯学習の拠点施設として、快適に利用できるよう館内外の環境整備に努める。 取組み : 定期的な施設の保守点検を実施するとともに、老朽化及び破損した施設や機器の修繕、備品の更新を行う。 ・保守点検内容 図書館情報システム、消防用設備、自動ドア等 ・修繕・工事箇所 屋上防水工事、外壁一部修繕工事、シーリング打ち替え修繕工事、屋上給水管修繕工事等						
目的の達成状況 老朽化及び破損した施設や機器の修繕を行い、市民へ快適で安全な施設利用を確保するとともに、円滑な図書館の維持管理により安定した利用者サービスを提供することができた。 屋上防水改修工事と建物壁面タイルが経年劣化により浮き、ひび割れがあったため正面玄関部分の応急修理を実施し、安全・安心に配慮した施設整備を進めることができた。						
評価項目		高 ◀ 事業の評価 ▶ 低		理 由		
妥 当 性		4 3 2 1 高い ■ □ □ □ 低い		安全安心に配慮した施設管理に努め、利用者に快適な環境を提供するのは、管理者としての責務である。		
有 効 性		4 3 2 1 高い ■ □ □ □ 低い		適切な施設の維持管理により、利用者に快適な環境を提供することができた。		
効 率 性		4 3 2 1 高い □ ■ □ □ 低い		予算を有効かつ効果的に活用し維持管理に努めた。保守点検及び修繕については、可能な限り休館日に実施し利用の妨げにならないよう工夫している。		
総合評価		適切な施設整備により、利用者が快適に過ごせる環境整備に努めた。 建物壁面は劣化が著しいため、応急修理を実施したが全面を調査し劣化状況を把握する必要がある。 築41年が経過し、施設及び設備に修繕や改修など対応が必要である。公共施設の一体整備を見据え、修繕箇所を選定し、計画的に整備を進めるとともに、施設を継続的に安全に使用できるよう適正な維持管理に努めた。				

令和6年度 教育委員会の点検・評価シート(令和5年度事業)

施 策 名		地域資源を活用した生涯学習活動の活性化		所属課	図書館
事 業 名		図書館運営事業			
予 算 科 目	款	9	教育費	当 初 予 算	8,349 千円
	項	5	社会教育費	予 算 現 額	8,356 千円
	目	3	図書館費	執 行 額	7,994 千円
				予算執行率	95.6 %
	事業	3	図書館運営事業	事業進捗率	100.0 %
事業の目的及び今年度の取組み 目 的 : 市民が利用しやすい図書館の整備とサービスの充実に努める。 取組み : 図書館協議会の開催 企画コーナーの設置及び情報発信による利用啓発 あかちゃんタイム、おたのしみ会の実施 「としょかん1年生」事業による小学1年生の利用促進 県立図書館をはじめ県内図書館との資料の相互貸借の利用					
目的の達成状況 貸出者(利用者)数 19,797人 (前年 18,165人 9%増) 資料貸出数 78,515点 (前年 71,558点 9.7%増) 奉仕人口一人当たり1.671点 あかちゃんタイム 利用者:95組 204人 おたのしみ会 10回実施 参加者:138人 としょかん1年生 配付:56人 配付率 18.1% 相互貸借 借受:609冊 貸出:105冊 (昨年度 借受:607冊 貸出:108冊)					
評価項目		高 ◀ 事業の評価 ▶ 低		理 由	
妥 当 性		4 3 2 1 高い ■ □ □ □ 低い		カウンター業務及びレファレンスサービス、資料の予約リクエスト等、利用者が必要とするサービスの充実に努めた。	
有 効 性		4 3 2 1 高い □ ■ □ □ 低い		時節や行事にちなんだ図書を配架する企画コーナーを設置するとともに、市広報及びSNS等を活用した図書情報の提供により利用促進を図ることができた。	
効 率 性		4 3 2 1 高い □ ■ □ □ 低い		県内の図書館との相互貸借やレファレンスサービス、企画展示等サービスの充実により、利用者は増えている。 また、学校配本事業の実施により団体貸出も延びている。	
総合評価		読書意欲の向上を促すべく年間を通して企画展示を行うとともに、資料の予約リクエストサービスに努め、市広報及びSNS等を活用した図書情報の提供を行い利用促進を図った。 入館者数は、コロナ禍前には及ばないが回復基調にある。利用促進及び読書推進を図るため、更なる工夫が必要である。			

令和6年度 教育委員会の点検・評価シート(令和5年度事業)

施 策 名		地域資源を活用した生涯学習活動の活性化		所属課	図書館
事 業 名		図書館資料収集事業			
予 算 科 目	款	9	教育費	当 初 予 算	6,048 千円
	項	5	社会教育費	予 算 現 額	6,062 千円
	目	3	図書館費	執 行 額	6,061 千円
				予算執行率	99.9 %
	事業	4	図書館資料収集事業	事業進捗率	100.0 %
事業の目的及び今年度の取組み 目 的 : 市民のニーズに応えるべく広範囲な分野の資料を計画的に収集し、一般の利用に供する。 取組み : 利用者の貸出状況やリクエストをふまえ広範囲な分野から資料を選定し、計画的かつ効果的な資料収集に努める。 地域資料の収集・整備及び保存に努める。 絵本及び児童書の更新を図る。					
目的の達成状況 購入資料内訳 図書 3,530冊 紙芝居 23冊 DVD 1点 CD 11点、雑誌 35誌 新聞 8紙 うちリクエスト購入数 図書 67冊(一般書:58冊、児童書:9冊) 広報ほこた及び雑誌の製本 地域資料の収集・整備					
評価項目	高 ◀ 事業の評価 ▶ 低		理 由		
妥 当 性	4 3 2 1 高い ■ □ □ □ 低い		予算を有効に活用し、蔵書構成、貸出状況、リクエスト等を勘案し資料の充実を図った。		
有 効 性	4 3 2 1 高い ■ □ □ □ 低い		広範囲な分野の資料を計画的に収集することにより、利用者のニーズに応えることができた。 古書店からの購入及び個人からの寄贈により、地域資料の整備を行い蔵書の充実を図ることができた。		
効 率 性	4 3 2 1 高い ■ □ □ □ 低い		資料の受け入れ先を広げることにより、欠本していた資料を補充するなど効率的に収集することができた。		
総合評価	市民の知的好奇心と多様なニーズに応えるため、幅広い資料の収集と整備を図り求められる資料や情報を提供することができた。 利用者にとって魅力ある蔵書構成の構築及び蔵書の新鮮度を高めるため、市民目線での資料収集及び更新を図って行く。 経年劣化による蔵書の買い替え、新しい情報に対応することや更なる蔵書の充実を図るため予算確保が必要である。				

令和6年度 教育委員会の点検・評価シート(令和5年度事業)

施 策 名		地域資源を活用した生涯学習活動の活性化		所属課	図書館
事 業 名		ブックスタート事業			
予 算 科 目	款	9	教育費	当 初 予 算	567 千円
	項	5	社会教育費	予 算 現 額	567 千円
	目	3	図書館費	執 行 額	564 千円
				予算執行率	99.4 %
	事業	6	ブックスタート事業	事業進捗率	100.0 %
事業の目的及び今年度の取組み					
目 的 : 月1回の乳児健診(4ヶ月)にあわせて事業を実施。絵本2冊を贈るとともに、ボランティアによる絵本を開く楽しい体験を通し心ふれあう機会の提供と読書に親しむきっかけを作る。 取組み : ブックスタートパック(絵本2冊、布製バック、パンフレット「はじめまして絵本」等)配付 フォローアップとして ・あかちゃんタイムの実施 ・年齢別おすすめの絵本の背表紙にシールを貼付 ・あかちゃん絵本コーナーの充実					
目的の達成状況 ブックスタートパックの配付 受領者:184人 あかちゃんタイムの利用 利用者:95組 204人					
評価項目	高 ◀ 事業の評価 ▶ 低		理 由		
妥 当 性	4 3 2 1 高い ■ □ □ □ 低い		赤ちゃんが読み聞かせの声に反応する様子を、保護者が間近に見聞きし、一緒に絵本を楽しむことを体験する貴重な機会となっている。		
有 効 性	4 3 2 1 高い ■ □ □ □ 低い		月齢に適した絵本を配付し、ボランティアによる読み聞かせを体験することにより、自宅でも絵本に親しむきっかけづくりをすることができた。		
効 率 性	4 3 2 1 高い □ ■ □ □ 低い		健康増進課と連携して4ヶ月健診にあわせて実施することにより、地域に生まれた赤ちゃんと保護者にもれなく絵本を手渡し事業の目的を伝えることができた。 また、図書館事業の案内とともに来館を促すことができた。		
総合評価	ブックスタートを通して、乳児期に本と触れ合う機会を増やせたと考える。図書館の利用促進をアピールする機会ともなった。 図書館内では乳幼児と保護者が一緒に絵本に親しんでもらえる場所を確保(あかちゃん絵本コーナー)し、利用が容易な環境の整備(あかちゃんタイム)を行った。 今後もすべての子どもたちが本に接し読書に興味・関心が持てるよう、発達段階に応じた支援をしていくことが必要である。				

令和6年度 教育委員会の点検・評価シート(令和5年度事業)

施 策 名		地域資源を活用した生涯学習活動の活性化		所属課	図書館
事 業 名		学校配本事業			
予 算 科 目	款	9	教育費	当 初 予 算	3,027 千円
	項	5	社会教育費	予 算 現 額	3,030 千円
	目	3	図書館費	執 行 額	3,014 千円
				予算執行率	99.4 %
	事業	9	学校配本事業	事業進捗率	100.0 %
事業の目的及び今年度の取組み 目 的 : 小中学校に図書を定期配本することで、学校図書館との連携を図るとともに、児童・生徒の読書環境の充実を図る。また、団体貸出しや市立図書館コーナーを設置することにより読書意欲の創出に努る。 取組み : ①授業の補助教材、読書の時間等で活用する図書を市立図書館の司書が選び、図書館員が学校へ届けることで利便性の向上を図る。 ②学校図書館に市立図書館の司書が選書・展示する特設コーナーを設け読書環境の充実を図る。					
目的の達成状況 配本サービス(団体貸出) 利用校:6校のべ27回(2,173冊) (内訳)補助教材 利用校:5校のべ19回(1,000冊) 学級文庫 利用校:2校のべ7回(630冊) 学校行事 利用校:1校(1年生～6年生)1回(543冊) 市立図書館コーナーの設置 利用校:8校のべ25回(1,418冊)					
評価項目	高 ◀ 事業の評価 ▶ 低		理 由		
妥 当 性	4 3 2 1 高い ■ □ □ □ 低い		事業の推進により、児童生徒の読書環境の充実及び利便性の向上を図ることができた。		
有 効 性	4 3 2 1 高い ■ □ □ □ 低い		学校へのアンケートでは、学校図書館への図書館コーナーを設置することで、本に興味関心を持つ児童生徒が増え学校図書館の利用も増えた、授業に役立っているとの回答があった。		
効 率 性	4 3 2 1 高い ■ □ □ □ 低い		本の更新が進まない学校図書館の現状を考えると、市立図書館の本を小中学校に別置することで、読書環境の充実と利便性の向上を図ることができた。		
総合評価	子どもたちの身近に本のある環境を増やすとともに、読書機会の創出につながった。更なる利用促進に向けて、事業の推進を図っていく必要がある。 また、昨年度は交付金により事業展開してきたが、本年度から一般財源のみの支出となるため、限られた予算内で効果的な事業展開を図る必要がある。				

令和6年度 教育委員会の点検・評価シート(令和5年度事業)

施 策 名		子どもたちの教育環境の向上		所属課	銚田学校 給食センター
事 業 名		銚田学校給食センター運営管理事業(銚田学校給食センター) 銚田学校給食センター運営管理事業(地方創生臨時交付金事業)			
予算科目	款	9	教育費	当初予算	389,525 千円
	項	6	保健体育費	予算現額	394,232 千円
				執行額	389,965 千円
	目	3	学校給食費	予算執行率	98.9 %
	事業	4	銚田学校給食センター運営管理事業	事業進捗率	100.0 %
事業の目的及び今年度の取組み					
目 的 : 旭・銚田・大洋地区の幼・小中学校の園児児童生徒へ安心して安全な給食を確実に提供する。 取組み: 給食従事者の衛生管理(定期的腸内菌等検査、健康管理)の実施、学校給食衛生管理基準及び異物混入対応マニュアルに則った作業の実施により不適正事案の防止に努めるとともに、給食物資納入業者の指導、学校、配送、配膳に関わる者と連携を図り安全で安心な給食の提供に努める。 給食にかかる物価高騰対策として前年度同様、地方創生臨時交付金事業を活用していく。					
目的の達成状況 市内小中学校幼稚園に195日(約3,400食/日 7小学校・5中学校・4幼稚園・センター)給食を提供した。 衛生管理については、衛生管理基準及び異物混入対応マニュアルに則り食中毒対策、食物アレルギー対応並びに異物混入防止対策に努めたが、異物混入事案については発生しており、調理前の食材の点検技術の向上を図る必要があった。また、食材の納入業者に対しても、食材の点検作業による疑義のある食材については改善を求めた。不適正事案については、個別具体的に改善した作業手順等をマニュアル化してデータとして整理し、給食業務従事者へ周知、研修するなど改善を図った。 賄材料費や燃料費の物価高騰に対し、地方創生臨時交付金事業を活用することで、給食費を増額することなく高騰前と変わらない質・量を確保した給食の提供に努めた。					
	高 ← 事業の評価 → 低		理 由		
妥 当 性	4 3 2 1 高い ■ □ □ □ 低い		学校給食の実施者として市が責任をもってセンター方式により運営することによって、学校給食事業の安定的な運営がなされている。また、子どもたちの健康はじめ、栄養の偏りや食習慣の乱れを改善するなど、学校生活において重要な役割を果たしていることから妥当性は高い。		
有 効 性	4 3 2 1 高い ■ □ □ □ 低い		市が学校給食を実施することで、調理業務委託によって必要な人員と調理技術を確保し、食中毒・異物混入・アレルギーに対応し、安定した業務運営ができる有効な事業である。		
効 率 性	4 3 2 1 高い □ ■ □ □ 低い		市内全校への給食提供の統合に向けた準備を進めることができ、調理業務・配送業務を統合したことで効率化は図られている。一方、安心して安全な給食を提供するうえでは、丁寧な作業と技術の向上を図る教育訓練等が必要であることから、着実に取り組む必要がある。		
総合評価	安心して安全な給食を確実に提供していくために、適切な施設・設備の保守管理を継続していくとともに、徹底した衛生管理、異物購入防止対策を追求していく必要がある。また、保護者や子どもたちの安心を育むことは大切なので、引き続き不適正事案については、発生防止に努めるとともに、説明責任を果たしていく必要がある。				

第4章 評価委員の意見

○教育委員会の活動状況

- ・ 教育委員会の設置、教育長及び委員の任命・構成、会議（定例会・臨時会）が関係法令に従って適切に行われている。

教育委員の活動の中で、学校等施設訪問・行事への参列など教育委員が学校現場に積極的に訪問している。

現場を直接見て、現場の生の声に耳を傾けることは重要である。今後とも大切にしていきたい。

1 教育・子育て支援給付金事業

- ・ 保護者の視点からして、本事業が子育て支援として有効であるというアンケート結果が出ており、銚田市の子育て環境の向上という点からも市民から求められる重要な事業だと考える。給付の是非、また交付金を活用していることから困難はあるかもしれませんが、給付する以上は、できるだけ事務処理を簡略化することができるのではないかと思う。
- ・ 子育て世帯の経済的負担が軽減されることで、子育てしやすい環境の向上が図られたと考えられる。アンケートの結果からもそのことがうかがえる。

事業目的が達成されたと考える。地域住民の意向を反映した、適切かつ有効な事業となっている。

給食費の全児童生徒無償化は、学校における集金事務や滞納対応が軽減・解消することから、学校現場の負担軽減、働き方改革にも資すると考える。

懸念される点として、財源確保の継続性、給食の質量の低下、他の教育施策との財源配分の整合性等が考えられる。

教育施策全体から、事業のプライオリティを考える視点も重要であると考え

- ・ 経済的負担が増えている中、給食費の支援は本当に助かることで、保護者も喜んでいると思うので、継続願います。

2 旭中学校区統合小学校整備事業

- ・ 人口減のなかで必要な事業だと思う。LGBTQを踏まえ、更衣室の設置や多目的トイレの設置など細かな配慮がされているし、これからの学校のあり方を意識し、メディアセンターやプレゼンルームを設定している点も高く評価で

きるように思う。これからも令和8年の開校に向けて地域や保護者の納得を得られる丁寧な話し合いを進めていただけたらと思う。

- ・ 令和8年4月開校に向けて、ハード・ソフト両面とも計画通り、順調に事業が進められている。過去3校の統合の積み上げの成果であると評価したい。

新設小学校は、中学校に隣接し、幼稚園も近隣であるという恵まれた立地環境にあり、各学校段階等間の接続の円滑化が図れる。義務教育9年間を見通した教育が行われることによる教育成果が期待できる。

過去の統合校の実績、特にメリットを示すことが、関係者（児童・保護者・地域住民）が抱えている不安の解消・軽減につながる。統合のメリットを積極的にPRして欲しい。

- ・ 旭小学校開校に向けて着実に進んでいるようなので安心しました。鉾田北、鉾田南、大洋の3校を参考に安全な学校づくりをしてほしい。

3 英語指導事業

- ・ ALTが幼稚園児や小学校1、2年生徒の交流を持てるようにしていることを含め、児童生徒に豊かな英語のコミュニケーションの場を準備する本事業はこれからの時代を生きる子どもたちにとっても重要だと思う。アンケート調査を見ても楽しいと感じている子どもたちは多く、英語学習への意欲喚起としても有効であることがわかる。

- ・ ALTを活用した授業によってネイティブな英語に触れることで英語文化・異文化に対する興味・関心を高め、英語好きの児童生徒を育てていること、英語力も向上させるいること等が、確かなエビデンスをもっと示されている。事業の目的が十分達成できたと考える。

グローバル社会を生きる児童生徒にとって国際的なコミュニケーション能力は必要不可欠であり、本事業の意義は大きいと考える。

- ・ 生きた英語を学ぶことにより、英語が身近な子供たちが増えていくことが良い。将来に役立つ英語を勉強させてください。

4 のびのび児童生徒推進事業

- ・ 「個別最適な学び」が強調される状況においては、教師のみで子どもたちに対応するのではなく、チーム学校として子どもたちに関わっていくことは重要であり、当該事業を進めていくことは高く評価できると思う。また働き方改革下において教師の負担が少しでも軽減されることからしても意味のある事業ではないかと思う。スクールソーシャルワーカーの活用については保護者の必要感からして難しい面があるかもしれませんが、少なくとも学校とスクールソー

シャルワーカーは綿密な関係を築き、保護者への紹介の仕方等さらに工夫を加え、充実した事業にしていただけたらと思う。

- ・ 本市が児童生徒の一人ひとりの状況に応じた、きめ細やかな教育を重視している姿勢が本事業からうかがえる。

特に、厳しい財政状況の中で、現場の要望に応え、スクールカウンセラー派遣及び学力向上支援非常勤講師を増員したことは評価できる。

特に、スクールカウンセラー相談については、297件の相談の内、240件で改善が見られたという調査結果は、特筆すべき成果である。

教育は、結果が出るまで時間がかかり、その結果も把握しにくい特性から、教育施策は漸進的なものであることが必要である。本事業を継続するとともに一層の拡充を図っていくことを望みたい。

- ・ 子どもたちの心のケアを第一に考えた事業なので学校と教育委員会で協力し合って進めてください。

5 特別支援教育支援事業

- ・ この事業においては支援員の方の資質の向上が鍵になると思うが、丁寧な研修や個別面談を実施し丁寧な資質向上の手だての下に実施されている事業であり、高く評価できる事業になっていると思う。また評価シートにも書かれていましたが、安定した学級経営にもつながる重要な事業でもあると思う。今後も資質の高い支援員の確保に向けて努力を続けていただけたらと思う。

- ・ 全国的に通常の学級に在籍しながら通級による指導を受ける児童生徒や特別支援学級に在籍する児童生徒の数が増加しており、配慮を要する児童生徒が通常学級でともに個別最適な学びを実現することは極めて困難な状況にある。

このような中であって、本事業において支援員を配置して、教育上特別な支援を必要とする児童生徒を支えているのは大いに評価できる。

この事業は、教育上特別な支援を要する児童生徒だけでなく、他の児童生徒の教育にも資するなど全体への波及効果の大きい事業である。この事業を必要に応じて拡充していくことを望む。

- ・ 支援員に対しての指導も含めて、研修会の実施をしているようなので、今後も継続してください。

6 家庭教育支援事業

- ・ 現在家庭教育の支援は、地域にとって最重要課題の一つだと思うが、一方的な伝達方式ではなく、ピアサポートという視点に立ち、グループワークをとおして保護者同士がつながっていく場を設定しており、高く評価できる事業にな

っていると思う。相談にのりやすい雰囲気をもった支援員への資質向上も重要だと思うので、今後とも人材育成、確保に向けて努力していただけたらと思う。

- ・ 家庭の教育力が低下している中で、本事業の果たす役割は重要である。本事業の良さとして、子どもの発達段階に応じた時期に多くの参加者が見込める場・機会ニーズに応じた内容を取り上げ、工夫した方法で研修会を行っていることを挙げることができる。

個別の保護者への相談支援体制も整えていることも評価できる。本事業は家庭教育の向上に貢献しており、目的を達成していると言える。

- ・ 家庭内での教育は、現実難しいと思います。その教育を補うことを市が協力してくれていることは評価していきたいと思う。

7 二十歳の集い事業

- ・ これからの成人式にとっては、儀式としての厳粛さを維持しつつも、成人になる青少年が主人公となり、その主体性を発揮できる儀式であることが重要だと思う。その意味で、高く評価できる事業になっていると思う。
- ・ 20歳を迎えた成人者に対し、祝福と激励を送り社会人としての責任ある行動と自覚を促すという目的で行う本事業は意義深く、出席率も高いことから市民に広く受け入れられている。引き続き実施していくことが望まれる事業である。実行委員会を中心とした企画運営も高く評価したい。
- ・ 実行委員会を中心に安全に指揮を開催できたことを評価する。成人の記憶に残る日になったと思う。

8 花いっぱい運動事業

- ・ 地域の活動としてはコミュニティづくりという点でも重要な事業だと思う。その意味で多くの団体の協力を得ながら行われている当該事業は評価できる事業です。ただ、今後とも、この事業の実施が過度の学校への負担にならないような工夫を続けていただけたらと思う。
- ・ 花いっぱい運動に参加団体が増えるなど本事業の取り組みに広がりが見られる。成果が表れたと評価したい。

参加団体の活動成果を展示したり、優れた取り組みを表彰したりする担当課の取り組みが、花いっぱい運動を活性化させたと考える。担当課及び関係者の工夫努力に敬意を表したい。

9 放課後子供教室推進事業

- ・ ほとんどの家庭が共働きの状況にある現在、子どもの安心・安全な居場所づくりは、喫緊の課題であり、当該事業は非常に高く評価できる事業だと思う。学校とは異なった自由度の高い学びの場の提供にもなっているのではないと思う。
- ・ 放課後及び週末に、学校とは異なる魅力のある学びが地域で行われていることの意義は大きい。学校教育と社会教育が補完しあって、豊かな教育を子どもたちに提供しているといえる。本事業を評価したい。
- ・ 放課後や週末等に子どもたちに学習させる環境提供はありがたい。

10 生涯学習館管理運営事業

- ・ 地域がバラバラになりやすい現代において、地域と協働・連携を図りながら社会教育を進めていくことは重要だと思う。今後もアンケートなども実施しながら、魅力ある企画展なども展開し、魅力ある生涯学習を進めていただけたらと思う。
- ・ 生涯学習館において、銚田市に関する歴史資料や石器・土器等の文化財を収集展示するなど歴史館的な役割も果たしている。小学校の郊外学習の場として活用されているほか、市外・県外からの来館者も増えてきている。
生涯学習館は、市民の生涯にわたる学び場、銚田市の魅力の対外発信の場となっており、本事業は高く評価できる。
- ・ 市民に関係するだけでなく、市外、県外の人たちに市の文化等を知ってもらえる事業は素晴らしいこと。

11 イングリッシュ・キャンプ事業

- ・ 確かに受益者の少ない事業であるが、グローバル時代における銚田市の英語教育に向かう態度を明確にする意味でも大切な事業だと思う。効率性が若干低いですが、事業の特質上受益者が費用の一部の負担することは当然ではないかと思う。

今後の課題として、キャンプ参加者だけではなく、他の子どもたちにこの事業の成果をどのように還元するかということもさらに考えていただけたらと思う。

- ・ 国際社会に生きる子どもたちが、宿泊を伴う英語漬けの中で、ネイティブスピーカーとの交流や異文化体験を通して、国際理解を深め、英語のコミュニケーション能力を図ることの意義は大きい。学校で学んだ英語をより実践的・発展的に学びたい生徒に学びの機会を提供している点で評価できる。

募集の仕方、成果報告等において、改善の余地があるので、ご検討いただき

たい。

- ・ 異文化の体験、国際交流できることで、様々な経験ができることで、英語も身近になり、国際社会への発信になり、評価大であります。

12 文化財保護・啓発事業

- ・ 文化財の保護そのものが重要であると同時に、郷土愛の育成や地域づくりにとっても重要な事業だと思う。特に子どもたちの郷土愛を育むことと本事業を関連させている点からも高く評価できると思う。
- ・ 文化財等の保護と活用は、郷土愛を育むことにつながることから、本事業の意義は大きい。

本事業と「生涯学習館管理運営事業」の取り組みで共通性があるように思う。予算・人員・取組で相互の乗り合いあるいは、業務の分担整理・融合できる余地がないか検討いただき、効率的かつ有効な事業運営に努めてほしい。

13 スポーツ推進事業

- ・ 生涯学習にとって、スポーツは重要な意味を持っており、評価できる事業だと思う。アメリカンフットボール／フラッグフットボールなど鉾田らしいスポーツに焦点を当てることは、地域づくりにとっても重要な意味を持つのではないのでしょうか。ただ、今後はすべて継続することだけではなく、取捨選択することによって、過度な負担がかからないような工夫をすることも大切かなと思う。
- ・ 各種スポーツの大会を地元で開催することで、市民のスポーツ全般への関心が高まり、体力向上、健康の保持増進が図られる考える。
中学校部活動の地域移行が進む中で、スポーツを行う組織母体が多様になってきており、参加組織及び個人参加について検討する必要があると考える。
- ・ 市から多数の有名選手が出てくるよう尽力してほしい。

14 スポーツクライミング推進事業

- ・ 鉾田市の特徴としても、また観光資源の一つとしても、鉾田らしい重要な事業だと思う。現在も努力をされているようですが、観光資源の一つとして考える場合、さらなる対外的なPRの工夫がなされるといいのではないかなと思う。
全国レベルの大会を開催し、その魅力を対外的にも発信している。「鉾田市ならスポーツクライミング」と他市町村からも認知されるまでになっており、本事業の取り組みを高く評価する。

市内の小学生を対象としたクライミング教室を開催し、裾野を広げている点、施設設備の拡充をしている点も評価したい。

- ・ スポーツクライミングと言えば“鉾田”となるようにPRを続けてください。

15 体育施設管理事業

- ・ 生涯学習にとってスポーツは重要な意味をもっており、評価できる事業だと思う。予算の確保は大変だと思うが、安心・安全な活動を保証できるよう計画的な事業運営をお願いできたらと思う。
- ・ 限られた予算の中で、やりくりしながら修繕・改修に努めており、評価できる。体育施設の保守点検を適切に行いながら、計画的な修繕・改修に努めてほしい。
- ・ 安心・安全にスポーツが取り組めるように修繕・改修はしっかりやってもらいたい。

16 公民館維持管理事業

- ・ 生涯学習にとって公民館活動は重要な意味をもっており、評価できる事業だと思う。予算の確保は大変だと思うが、安心・安全な公民館活動を保証できるよう今後も計画的な修繕をお願いできたらと思う。
- ・ 予算状況が厳しい折、安心・安全を最優先に維持管理に取り組んでいることは、やむを得ないと考える。長期的な将来像を見据え、市民の理解を得ながら公民館の存続・維持・管理に努めてほしい。
- ・ 修繕等に費用を使い、安心・安全な公民館運営に努めてもらいたい。

17 公民館運営事業

- ・ アンケートを実施し、魅力ある講座の計画になっており、高く評価できる事業になっていると思う。高齢者に元気で長生きしてもらうためにも今後とも高齢者教育を維持拡充していただけたらと思う。
- ・ 本事業で生涯にわたって学ぶ機会を提供し、市民の文化振興にも貢献している。前年に比べて参加者も増加し、その満足度も95%以上となったことは、特筆すべき成果である。運営に係る関係者の企画運営の工夫・努力に敬意を表したい。

18 芸術文化創造事業

- ・ 本物の芸術に触れる機会を準備することは大切な意味を持っており、身近に触れられる経験を与えてくれる本事業は高く評価できる。特に小中学校における出前実施を行っていることは子どものころから芸術に触れる経験を持てることを意味し、高い価値を持っているように思う。有料公演も受益者負担ということを考えれば当然であるし、今後ますます広報を充実させ、より質の高い事業にしていけたらと思う。
- ・ 本事業で市民が多様な文化・芸術に触れる機会を提供し、市民が心豊かな生活を送れるようにしている。本事業で芸術文化活動の振興が図られており、高く評価できる。
- ・ 市民が芸術文化に触れられる環境を作ってもらい、市民が通いやすいようにしていただきたい。

19 図書館維持管理事業

- ・ 必要な事業だと思う。予算のかかることなので難しいことだとは思いますが、地域における情報の基地として工夫を続けていけたらと思う。
- ・ 定期的な保守点検、施設の修繕、備品更新により、安全で安定した利用サービスを提供しており、評価できる。
- ・ 老朽化により破損している部分があると思うのでしっかり修繕してもらい、市民が通いやすい環境整備に努めてください。

20 図書館運営事業

- ・ 場所の制限により資料の貸し出し数を増加させることは難しいかもしれませんが、広報や企画事業の工夫などにより情報発信の基地としての機能を充実させていけたらと思う。
- ・ 市民のニーズを的確に把握し、様々な工夫を凝らした取り組みを行っている。貸出者（利用者）数、資料貸出数ともに増加しており、事業の成果が顕著に表れている。

21 図書館資料収集事業

- ・ 資料の購入を古書店から行うなど地域資料を充実させるなど努力していて、評価できる事業だと思う。
- ・ 利用者の貸し出し状況やリクエストを踏まえて、図書等を購入し、蔵書の充実を図っている。市民のニーズに応える資料収集と情報提供しており、評価で

きる。

将来的には、デジタル図書（電子書籍）の購入と貸し出しシステムの構築も考慮していただきたい。

22 ブックスタート事業

- ・ 本事業は、図書館の利用促進はもちろん本市の乳幼児支援としても機能しており、評価できる事業だと思う。保護者に読み聞かせの効果を理解してもらえる機会としても大切だと思う。
- ・ 乳児期に親子で絵本に親しむ体験の場を提供していることは、豊かな読書週間の育成に役立つと考える。本事業の中で図書館事業を案内し、図書館の利活用にもつないでいる点も評価したい。

本事業は地域につなぐのがない、子育てに不安を抱いている保護者の安心ネットワークづくりにもなっていると思う。

23 学校配本事業

- ・ 交付金が終了し一般財源からの支出でまかなわなければならない状況もあり厳しい状況だと思うが、読書を盛んにしていくためには図書の面白さを子どもたちに伝えることが必要であり、その意味でも本事業の価値は高いと思う。
- ・ 市立図書館と学校図書館が連携することによって、小中学校の読書環境を充実させている。

24 鉾田学校給食センター運営管理事業 （地方創生臨時交付金事業）

- ・ 材料費高、燃料費高のなかで給食費を維持していくことは大変なことだと思うが、食の大切さを考えると、今後とも継続して努力していただきたい事業であると思う。異物混入やアレルギー対応なども含め、安心・安全な給食を提供していくことにさらなる工夫をしていただけたらと思う。
- ・ 今後とも、適切な施設・設備の保守管理及び衛生管理を徹底し、安全・安心な給食の提供に取り組んでいただきたい。
- ・ 安心・安全な給食を提供してもらうためにマニュアルに則り、事故のないように努めてもらいたい。